

**平成21年度
第2四半期(上半期)報告
説明資料**

**平成21年11月25日
明治安田生命保険相互会社**

契約業績のポイント

○保険料等収入の状況

(単位：億円)

	平成21年度		前年同期比	平成20年度
	上半期			上半期
保険料等収入	15,659	21.2%		12,915
うち個人保険・個人年金保険	10,448	32.7%		7,875
うち団体保険・団体年金保険	4,970	3.8%		4,790

保険料等収入

1兆5,659億円

◇ 前年同期比21.2%増加

◇ 個人保険・個人年金保険
前年同期比32.7%増加

《銀行窓販の状況》

3,399億円

◇ 前年同期比5倍以上増加

◇ お客さまの安定資産志向から、
一時払終身保険・定額年金
保険を中心に好調を維持

○年換算保険料の状況（個人保険・個人年金保険）

・新契約

(単位：億円)

	平成21年度		前年同期比	平成20年度
	上半期			上半期
新契約年換算保険料	853	68.2%		507
うち第三分野	129	△7.8%		140

・保有契約

(単位：億円)

	平成21年度		前年度末比	平成20年度末
	上半期末			
保有契約年換算保険料	17,085	0.8%		16,950
うち第三分野	3,384	△0.1%		3,388

《ご参考》

○銀行窓販の状況（保険料等収入）

(単位：億円)

	平成21年度		前年同期比	平成20年度
	上半期			上半期
保険料等収入	3,399	412.7%		663

新契約年換算保険料

853億円

◇ 前年同期比68.2%の大幅増加

保有契約年換算保険料

1兆7,085億円

◇ 平成20年度末を底に、増加に反転

収益性指標

○基礎利益

	平成21年度		前年同期差	平成20年度	
	上半期			上半期	
基礎利益	1,345	△ 513		1,859	
費差	229	△ 228		457	
危険差	1,535	△ 168		1,703	
逆ざや	△ 419	△ 116		△ 302	

(単位：億円)

基礎利益

1, 345億円

(前年同期比27.6%減少)

◇ 銀行窓販の大幅伸展に伴う手数料や営業職員制度改革に伴う事業費の増加

◇ 厳しい経済環境を背景とした利息及び配当金等収入の減少等により、逆ざやは前年同期差116億円拡大

ただし、追加責任準備金の積立により、負債コストである平均予定利率は着実に低下

《ご参考》

○平均予定利率

	平成21年度		前年同期差	平成20年度	
	上半期			上半期	
平均予定利率	2.52	△0.12ポイント		2.64	

(単位：%)

○内部留保等+追加責任準備金

	平成21年度		前年度末差	平成20年度末	
	上半期末				
内部留保等+追加責任準備金	16,790	315		16,475	

(単位：億円)

(注)基金償却後、剰余金処分後の数値。

内部留保等+追加責任準備金

1兆6,790億円

(前年度末差315億円増加)

健全性指標①

○ソルベンシー・マージン比率

	平成21年度 上半期末		平成20年度末
		前年度末差	
ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$	1,212.6%	113.9ポイント	1,098.7%
ソルベンシー・マージン総額 (A)	34,587	5,881	28,706
リスクの合計額 (B)	5,704	479	5,225

(単位：億円)

○実質純資産額

	平成21年度 上半期末		平成20年度末
		前年度末差	
実質純資産額	35,437	6,401	29,035
一般勘定資産に対する比率	14.8	2.4ポイント	12.4

(単位：億円、%)

◇ 従来より、ALMをベースとした高度なリスク管理による財務健全性の向上に取組み

ソルベンシー・マージン比率

1,212.6%

(前年度末差113.9ポイント上昇)

◇ 1,200%を超える水準を確保

実質純資産額

3兆5,437億円

<一般勘定資産に対する比率>

14.8%

(前年度末差2.4ポイント上昇)

健全性指標②

○一般勘定資産全体の含み損益

(単位：億円)

	平成21年度 上半期末		前年度末差	平成20年度末
一般勘定資産全体の含み損益	16,955	7,143	←	9,812
うち時価のある有価証券 ^(注)	12,642	7,242		5,400
公社債	2,973	411		2,562
株式	9,208	5,758		3,450
外国証券	416	1,015		△ 598
その他	43	56		△ 12

(注)有価証券には、CD(譲渡性預金)等、金融商品取引法上の有価証券として取り扱うことが適当と認められるものを含めています。

含み損益(一般勘定資産全体)

1兆6,955億円

◇ 公社債、株式、外国証券など
主要な資産において含み益を
確保

○国内株式含み損益ゼロ水準

	平成21年度 上半期末	平成20年度末
仮に当社ポートフォリオが日経平均株価およびTOPIXにフル連動するとした場合		
日経平均株価ベース	6,900円台	← 6,500円台
TOPIX ベース	630 ^円 イット台	640 ^円 イット台
株価指数と当社ポートフォリオの過去の連動性を用いて算出した場合		
日経平均株価ベース	6,700円台	6,400円台
TOPIX ベース	610 ^円 イット台	620 ^円 イット台

国内株式含み損益ゼロ水準

(日経平均株価ベース)

・仮に当社ポートフォリオが日経平均株価に
フル連動するとした場合

6,900円台

○リスク管理債権額

(単位：億円、%)

	平成21年度 上半期末		前年度末差	平成20年度末
リスク管理債権額	426	124		302
貸付残高に対する比率	0.74	0.24ポイント		0.50

クオリティの状況

○解約・失効の状況（個人保険・個人年金保険）

（単位：億円、%）

	平成21年度		平成20年度 上半期
	上半期	前年同期比(差)	
解約・失効率	3.21	△0.12ポイント	3.33
解約・失効高	37,569	△10.9%	42,179
解約・失効年換算保険料	↑ 435	△5.4%	460

○総合継続率の状況（個人保険・個人年金保険）

（単位：%）

	平成21年度		平成20年度 上半期
	上半期	前年同期差	
13月目総合継続率	91.7	2.5ポイント	89.2
25月目総合継続率	79.7	3.4ポイント	76.2

（注）総合継続率は、契約高ベースにて算出しています。

◇ **クオリティ重視の業務運営により、解約・失効率や総合継続率が着実に改善**

解約・失効率

前年同期差 0.12ポイント改善

解約・失効高

前年同期比 10.9%減少

総合継続率

13月目… 2.5ポイント改善

25月目… 3.4ポイント改善